

## 国際交流・社会貢献等の概要

### ●国際交流活動の推進

#### ○海外プログラム

大学における国際交流活動の推進に向けては、国際ビジネス学科を設置して以来様々な取り組みを実践してきた。その1つに授業科目として「グローバルコミュニケーション」を新たに設け、国際社会に対応できる人材の育成を図っている。これは本学が提供する海外プログラム（国際交流プログラム、海外研修、スポーツマネジメント研修等）や個人的な観光旅行で外国に渡航した際、臆することなく英語でコミュニケーションを取れる能力を養い、そして将来的に仕事で英語を使用することに対する希望と自信を持ってもらうことを目指す講義となっている。単なる語学学習ではなく、国際的な感覚、視野の広がりをも身に付けてもらい、実践として海外研修等への参加意識も高めている。そのため新たに規程も整備し、一定要件のもと海外研修の参加費補助制度も設けた。この授業は伊勢崎キャンパス、高崎キャンパスの両キャンパスで開講されており、受講する学生たちも定着している。昨年まではコロナ禍の影響で海外渡航研修は中断し、代替として、遠隔で行われる語学研修プログラムを安価で参加希望者に提供していたが、本年度からアメリカ、カナダ、フランス、オーストラリアへの渡航研修を再開する予定である。中でもフランスへの渡航研修では、過去にパリで行った実績のある「絵手紙ワークショップ」を通じての文化交流がプログラムとして再開され、学生が受け身で教わるだけでなく、教える側としての異文化交流の機会が設けられる。

#### ○シンガポール・南洋理工大学とのオンライン国際交流の継続

本学と提携するシンガポールにある南洋理工大学（NTU）学生とオンラインでの国際文化交流を本年も実施した。交流内容として、南洋理工大学が開催している「Arts Festival 2023」に本学の有志チームが「絵手紙ワークショップ」として参加し、絵手紙を実際にシンガポール学生に教える活動を行った。NTUから20名の学生が参加、本学は7名のメンバーが英語でプレゼンテーションと描き方の指導を行った。線のかき方や文字のかき方などに続いて、後半は果物や花のスケッチに全員で挑戦した。オンラインでかき方をうまく説明できるか不安もあったようだが、NTUの学生の素晴らしい作品の数々を見て、驚きと同時に「伝えたいことがちゃんと伝わった」という達成感を味わえた経験となった。楽しい雰囲気の中かで2時間のセッションは成功裏に終了し、オンラインでのコミュニケーションを通じてNTUとの友好をさらに深めることができた。今後も継続して交流を続けていく予定である。

#### ○スポーツにおける留学生受け入れ

さらにはここ数年スポーツにおいても海外からの留学生を積極的に受け入れている。人数はそれほど多くないものの、アジア圏以外にも留学生が定期的に留学している。競技では

バスケットボール、サッカーが主であり、継続的に留学生を迎えている。こうしたスポーツを通しての定期的な留学生の受け入れにより、海外関係機関との連携協定締結なども期待できる。

#### ●大学間連携

従来から本学を含む群馬県内5大学（高崎商科大学、関東学園大学、共愛学園前橋国際大学、高崎健康福祉大学）による合同の企業研究会を開催していたが、ここでの大学間交流を基にして、より強固な連携協力関係を結ぶべく、平成27年度から6大学と株式会社スパンによる学生の就職支援を共同して行っていくための協定を締結している。これにより各大学での就職情報等を共有でき、人事交流なども盛んに行われることになり、学生たちが効率的な就職活動を行うため、様々な形で支援できるよう対応が図られている。今年度は7月15日に高崎商科大学で開催された24卒合同会社説明会の後援を大学として行った。

#### ●産学官連携

##### ○包括連携協定等の締結

上武大学では平成26年度から平成28年度にかけて、地域社会の発展と人材育成への寄与を目的として、教育、文化、福祉、健康、地域産業、国際交流などの分野において連携、協力するための協定を群馬県内各自治体と結んだ。まず平成27年2月に伊勢崎市との協定をとりまとめ、続いて玉村町、富岡市、渋川市、藤岡市の大学近隣5市町村との包括協定を順次結んでいる。協定締結以前から協力関係にあった上武大学と近隣市町村であるが、これにより様々な分野で一層の協力・連携関係が築かれることになっている。具体的には各市町村やその教育委員会が主宰して開催する市民・町民向けのスポーツイベントの運営補助や競技補助業務や、各市町村が運営する施設で玉村町陸上教室などの文化事業の開催などがある。なお高崎市とは部分的協定ではあるが、災害時における施設利用に関する協定を取り交わし、高崎キャンパスのある新町地区の防災に関して、高崎市と連携しながらその対応策の検討を行うこととなっている。

##### ○文部科学省主催「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」への参画

標記補助事業には群馬県も積極的に関わり、県が主導する形で群馬県への就業率向上を目的として、共愛学園前橋大学が核となり、本学と高崎商科大学、明治学院大学が協力する参加校として連携し、平成27年度補助事業の採択を受けた。ここには群馬県をはじめとして、高崎市、前橋市、伊勢崎市、富岡市の自治体も加わり取り組みを推進している。大学卒業後の群馬県内への就業率上昇を目標に掲げ、大学、自治体そして県内の企業も積極的に協力していく体制が整い、本学をはじめとする各大学も協力して具体的な取り組みを検討・推進している。

#### ○群馬地域大学連携協議会への参画による地域貢献

群馬県が主体となり、県内の自治体が抱える問題・課題解決に大学が積極的に加わり、ともに地域貢献事業を実践していくための組織。本学もこの協議会に参画しており、その中で渋川市の案件として、総合型スポーツクラブの運営協力や、スポーツイベントなどの競技補助などの業務において協力している。

#### ○高大連携の推進

群馬県内の高等学校のうち、吉井高校、高崎東高校、榛名高校、桐生商業高校、高崎高等特別支援学校の4校とは高大連携協定を締結している。内容として高等学校におけるカリキュラム支援や、テーマ学習の共同研究・発表、共同のボランティア活動、キャリア教育支援、などである。コロナ禍で停止している状況ではあるが、榛名高校の新入生オリエンテーションでは毎年絵手紙体験を行っており、本学から担当の職員を派遣し、講習と実技指導を実施している。

#### ●社会貢献活動と地域連携

○本学高崎キャンパスがある高崎市新町において、地元の商店連盟・商工会議所と協定を締結し、新町地区の活性化のために、学生達も協力しながら様々な活動を行っている。具体的には新町祭り及び新町商工祭への企画参画と運営補助、などがありその他にも学生たちはいろいろなボランティア活動により、町の運営に協力している。また富岡製糸場と同様の歴史的価値のある建造物、新町紡績所の世界遺産追加登録に向けて、「よみがえれ！新町紡績所の会」とも包括協定を締結し、大学と町を挙げて、文化的活動を推進している。なおこうした学生たちの積極的なボランティア活動を大学としても評価しており、「社会貢献実践」という新たな授業科目を導入し、学生のボランティア活動に対して単位も付与している。これらを取りまとめる組織として、大学にはボランティアセンターも設置している。例年行われる活動として、冬季に高崎キャンパスの側を流れる烏川に飛来する白鳥保護を目的とした河川敷の清掃活動に「社会貢献実践」受講者とボランティアサークルの学生が参加し、環境保全に努めている。

新町商工会議所との連携では、例年夏に開催される新町ふるさと祭り「花火大会・灯籠流し」ではボランティアサークルの学生が、会場の警備・誘導を行い、多くの人で賑わった祭りを裏方として支えている。

#### ○『大学生×伊勢崎市 コラボレーション企画』に参画

昨年度の8月から9月にかけて伊勢崎キャンパスで学ぶスポーツ健康マネジメント学科の学生が、地域（伊勢崎市）の魅力や大学の魅力について発信を行うため、伊勢崎市役所に赴き、市の広報担当の方と意見交換などを行った。参加学生が本企画を通して作成した記事

が広報いせさきに掲載され、上武大学の特色紹介や、大学付近の人気の飲食店などが取り上げられ、好評を得た。

#### ○救急救命士コースの活動

ビジネス情報学部・スポーツ健康マネジメント学科・救急救命士コースの活動拠点である救急救命センターには実際の救護活動に利用される様々な機械器具や設備があり、救急車も配備されている。現時点では学生たちだけで救護活動などを展開することは難しいが、救急救命士の資格を持った教員が常日頃指導を行うことで、補助活動等は実践できるようになっている。例年開催されている群馬県内の大イベントである、「群馬マラソン」ではコースの学生が救護ボランティアとして大会の運営に係わり、AED 運用や、移動救護、入場チェックの役割などを果たしており、大会の安全・安心に大きな貢献している。

#### ○スポーツトレーナー活動

本学の柔道整復師コースの学生達で構成されているトレーナーサークルは、大学との協定を締結している自治体が企画・運営するスポーツ事業に積極的に参画しており、学びを実践できる場としても機能させている。具体的には以下に挙げる競技会等において、独自のブースを設置し、参加者たちの競技前後の身体的ケアを行っている。今年は、「妙義山ビューライド in 富岡 2023」、「第 30 回 遊水地ふれあいトライアスロン群馬大会」、「第 11 回榛名山ヒルクライム in 高崎」、「TAKASAKI CITY 第 32 回はるな梅マラソン」「榛名湖リゾートトライアスロン」といった群馬県内での大きなスポーツイベントでケアブースを続々と出展し、ストレッチやスポーツマッサージ、テーピング、アイシングなどをブースに立ち寄った希望者に提供した。

#### ○授業を通じたボランティア活動

- ・新町七夕まつりの飾りつけ、撤去作業

令和 4 年 6 月 30 日、7 月 3 日

学生 5 名

新町七夕まつりの七夕飾りの取り付け作業と撤去作業を行った。

- ・オトナヨミセ

令和 4 年 7 月 2 日

学生 12 名

新町銀座通りに新町内外から出店した屋台で自慢のグルメを販売。路上ライブを行う。

銀座通り両端にゲートを設け感染症対策として検温・消毒などを行う。

準備、運営、片付けの支援、商工会青年部出店の支援（お子様向けくじ・ドリンク販売等）

会場内のゴミ拾い、ゴミ袋交換

・ SHINMACHI FESTA2022 開催に伴うボランティア活動

令和4年9月24日

学生21名

準備、運営、片付けの支援

各ブースの支援（物品販売、受付等）

会場内のゴミ拾い、ゴミ袋交換

新町商工会青年部と共同で行った。

・ 新町ふるさと祭り「花火大会・灯籠流し」

令和4年8月16日

学生11名

藻刈り、ぼんぼりの設置、かがり火台の設置、案内標識版の設置、立入り・車両侵入禁止区域標識の設置などを行った。

花火大会中は、来場者の安全誘導を行い、終了後は標識撤去作業を行った。

・ たかさきハロウィン

令和4年10月8日

学生6名

会場をハロウィン風に装飾

お菓子の配布、スタンプラリーの実施、オンライン仮装コンテスト

スタンプラリーを巡る子どもたちの案内とお菓子配布をハロウィンの仮装をして行う。

・ キングオブパスタ

令和4年11月13日

学生3名

会場受付の手伝い、会場誘導などの来場者整理

各店舗での手伝い、会場内のイス、テーブルなどの整理片付け

・ 白鳥見守り隊への参加

令和4年11月27日、令和4年12月18日（2日間）

学生20名が参加

高崎キャンパスのほど近くを流れる鳥川河川敷において、飛来した白鳥の保護を目的にゴミ拾い等の環境整備を行った。河川敷のゴミは流れてきたもの、人が捨てたと思われるペットボトル、空き缶、紙ゴミなどかなりの量が見られた。12月の日程では、飛来した白鳥が観察できた。

- ・ひなたぼっこ

令和4年6月～令和5年3月 月曜日・木曜日

学生6名

高崎市新町のボランティア団体「虹の架け橋」が運営する空き店舗を利用して作られた地域サロン「ひなたぼっこ」にて、小学校6年生の宿題や勉強を見る、中学生の自習の場で学習指導など、地域の小学生、中学生、高齢者の交流の場の運営ボランティア

- ・新町ボランティア・NPO フェスティバル

令和5年2月19日

学生1名

「絆をつなげる小さな交流会 新町！しんまち！シンマチ！SHINMACHI！」

雑貨作り、朗読体験、手話体験に参加

「話そう新町」講演を聞き、街づくりについて意見交換をした。

※上毛新聞に掲載されました

- ・第12回NPO ボランティアフェスティバル

令和5年2月25日

学生2名

「虹の架け橋」と合同で上武大学ボランティアサークルの活動紹介と体験コーナーを設置  
高齢者対象の脳トレ体験を行った。